

ドイツ連邦食料・農業省プレス公告
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 16

NO 16

2015・4・18

1 政務次官ブレーザー：アメリカを訪問しバイオ経済で政治対話

連邦食料・農業省政務次官ブレーザーは、2015年4月13日から17日まで、アメリカで政治対話を行った。サンフランシスコと首都ワシントンへの旅の中心テーマは、バイオ経済である。バイオ経済は、全ての分野において理解され、持続的原料の生産と利用される資源の効率は、持続的な循環経済として評価される。このことは、農―林業及び養殖または微生物的な産物の生産原料のみならず、例えば生物学的に起源する残さ―廃棄物もまた含まれる。

”バイオ経済の全体構想は、21世紀の中心的な挑戦克服（例えば物凄い早さで増大する世界人口、気象変動または化石資源の有限性）のために貢献できる”と、ブレーザーは述べた。彼は、すでに今バイオ経済とバイオテクノロジーの分野で、先駆的な国となっているアメリカの研究の当面する現状の概要を目にした。”政務次官は、この目的のためにまず第一に、サンフランシスコ圏域で様々な企業と研究機関を視察し、その後、ワシントンで国内バイオ経済戦略の政策的実践のための会談を行った。”

首都ワシントンにおける対話の更なる日程には、ドイツの乳牛経営のアメリカ輸出展望、並びにEUとアメリカとの間で計画している、自由貿易が据えられている。”我々は、アメリカにヨーロッパの農産物と食料を販売するためにも、TTIP（環大西洋貿易投資パートナーシップ）を、大きなチャンスとして意識している”と、ブレーザーが強調した。”それにも拘わらず、国民の懸念が深まっている。食料―消費者分野におけるヨーロッパの保護水準は、立法機関の規制権限に拘わらず、全く重要な利害関係となっている。私は、計画している協定に関連したアメリカの考え方に関して、情報を入手することに、自分のこの訪問を活かしたい。”

2 農村地域における身近でのサービス提供を確保

連邦食料・農業大臣シュミットは、地域性と農村地域における多機能ハウスの領域における、革新的な問題解決のための号砲を発した。シュミットは、農村地域における身近でのサービス提供のための、革新的な解決を探るモデル計画をスタートさせた。その際、中心には1つ屋根の下で身近なサービスを組み合わせのもとに、チャンスを提供する、いわゆる多機能ハウスが据えられている。

”この目的は、農村地域において身近でのサービスを、長期的に確保することである。我々は、そのため現地の関係者と共に、構想を発展させそして将来を指向したプロジェクトを実行したい”と、シュミットは述べた。これには、農村発展連邦プログラムから、1モデルプロジェクト当たり100,000ユーロ（約1,300万円）の奨励金が充当される。農村地域における経済的な安定と生活の質確保のために、地域でのサービスとそれの身近での提供が、不可欠である。

だがしかし、人口変動に直面して多くの農村地域で、高齢化と元気な住民の減少が、サービス提供の低下をもたらしている。地域の身近での産物供給とサービスを確保するために、多機能ハウスの選択肢を提供する：それは例えば、農村での医療提供、介護支援所、薬局、書店、役場事務所、カフェーまたは郵便一銀行サービスのための施設が、1つ屋根の下に同居している。この背景のもとで、モデル特性をもったプロジェクト実践について、関心をもつ人を探している。申請は、2015年6月2日までに、ボンの連邦食料・農業局に提出する。

背景情報

”地域特性と多機能ハウス”のモデルデモンストレーション計画の実施は、革新的な方法での試行と奨励に役立つ、農村発展プログラムの構成要素である。

これは現在、非農業に合わせた農村地域での計画と活動が、主に据えられている。また、これは共同課題「農業構造と海岸保全の改善」で、奨励されることができない。2015年に連邦プログラムで、1,000万ユーロ（約13億円）充当される。さらなる公表は、農村地域の中心的な将来分野に計画している。

3 今週の数字：連邦農業省が、アフリカで**3番目**の農業トレーニグー研修センターを奨励

3番目の施設は、2015年4月17日にアフリカで連邦大臣シュミットが、ザンビアへの訪問の際に同国の同僚大臣 Given Lubinda とともに、オープンした。この3番目の最も新しい施設は、ザンビアの首都 Lusaka の近くに設立された。既に設立されている2つのセンターは、エチオピアとモロッコにある。ドイツーザンビア農業トレーニグー研修センターにおいて、ザンビアの農業者は実践トレーニグーとともに、近代的、そしてその土地に適した農業技術と、作物分野における持続的な栽培方法を、学ぶことができる。

2015・4・24 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
